

2020年3月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月14日
東

上場会社名 株式会社デンタス

上場取引所

コード番号 6174

URL <https://www.dentas.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役

(氏名) 有田道生

問合せ先責任者(役職名) 取締役 管理部長

(氏名) 井田一徳

(TEL) (088) 657-3115

発行者情報提出予定日 2019年12月26日

配当支払開始予定日

—

中間決算補足説明資料作成の有無 : 無

中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期中間期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期中間期	216	△36.9	△33	—	△35	—	△71	—
2019年3月期中間期	343	△0.8	△37	—	△34	—	△37	—

(注) 中間包括利益 2020年3月期中間期 △70百万円(-%) 2019年3月期中間期 △39百万円(-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期中間期	△194 93	— —
2019年3月期中間期	△116 83	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期中間期	276	△102	△37.2
2019年3月期	390	△62	△16.1

(参考) 自己資本 2020年3月期中間期 △102百万円 2019年3月期 △62百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0 00	0 00
2020年3月期	—		
2020年3月期(予想)		0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	660	△12.0	△26	—	△24	—	△24	—	△67 33	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動 : 有・無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 社 ()、除外 1 社 (F・ソリューションズ株式会社)

- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
④ 修正再表示 : 有・無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期中間期	366,666株	2019年3月期	346,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期中間期	0株	2019年3月期	0株
③ 期中平均株式数	2020年3月期中間期	366,214株	2019年3月期中間期	321,671株

※ 中間決算短信は、公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信 (添付資料) 4 ページの「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) リスク情報	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等について	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	10
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境が引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら世界経済においては、米中を中心とした通商問題をめぐる緊張の増大など、世界経済及び国内経済にとっても不透明感が増しております。

当社グループが事業を営む歯科技工業界においては、高齢化の更なる進行に伴い、デジタル化による高品質・低価格な歯科技工物の需要は、今後も急速に高まっていくものと考えられます。

【高齢化率（65歳以上の人口割合）】

2005年（実績）：20.2%

2018年（実績）：28.1%

2065年（予測）：38.4% 令和元年版高齢社会白書（内閣府発表）

こうした事業環境のもと、当社グループは赤字の早期解消に向けて、組織効率化を図りコスト削減と受注の安定性を確保するため、2019年8月30日開催の取締役会において、当社の連結子会社であったF・ソリューションズ株式会社の株式を株式会社シケンに譲渡することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し譲渡を完了しました。株式譲渡に伴い、グループ子会社で行っていた歯科医院向け営業を株式会社シケンに集約することを機に、同社からの外注取引を拡大し業績改善に努めることになりました。

このような状況下、当中間連結会計期間における売上高は216,745千円（前年同期比36.9%減）、営業損失は33,776千円（前中間連結会計期間は営業損失37,966千円）、経常損失は35,345千円（前中間連結会計期間は経常損失34,343千円）、親会社株主に帰属する中間純損失は71,387千円（前中間連結会計期間は親会社株主に帰属する中間純利益37,581千円）となりました。

なお特別利益としまして、連結子会社であったF・ソリューションズ株式会社の株式譲渡に伴う関係会社株式売却益19,154千円を計上しております。特別損失としまして、同株式譲渡に際してグループ子会社による債権放棄を実施したことによる債権放棄損を17,925千円、また歯科医院向けに保有していた歯科医院設備を一部除却したことに伴い固定資産除却損を9,808千円、貸倒引当金繰入額27,472千円を計上しております。

(ア) 売上高

売上高は216,745千円となり、前中間連結会計期間と比較して126,775千円（前年同期比36.9%減）減少しました。これは、前中間連結会計期間では計上のあった歯科医院開設支援に関連する売上が当中間連結会計期間では計上できなかったこと、また、AED等の機械販売の売上が減少したことによるものであります。

(イ) 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費は85,162千円となり、前中間連結会計期間と比較して56,285千円（前年同期比39.8%減）減少しました。これは、主として、F・ソリューションズ株式会社の連結除外による減少及び役員報酬や人件費をはじめとした経費の全面的見直しによるものであります。

(ウ) 営業利益

(ア)～(イ)の結果、33,776千円の営業損失となり、前中間連結会計期間と比較して4,189千円の

損失減少（前中間連結会計期間は営業損失37,966千円）となりました。

(エ) 営業外損益

営業外収益は3,803千円となりました。これは、主に作業くず売却益2,767千円の計上によるものであります。また、営業外費用は5,372千円となりました。これは、主に支払利息2,628千円及び棚卸資産廃棄損1,446千円を計上したことによるものであります。

(オ) 経常利益

(ウ)～(エ)の結果、35,345千円の経常損失となり、前中間連結会計期間と比較して1,002千円の損失増加（前中間連結会計期間は経常損失34,343千円）となっております。

(カ) 特別損益

特別利益として上記連結子会社であったF・ソリューションズ株式会社の株式譲渡に伴う関係会社株式売却益19,154千円を計上しております。また、特別損失としまして、同株式譲渡に際してグループ子会社による債権放棄を実施したことによる債権放棄損を17,925千円、また歯科医院向けに保有していた歯科医院設備を一部除却したことに伴い固定資産除却損を9,808千円、貸倒引当金繰入額27,472千円を計上しております。

(キ) 法人税等

法人税、住民税及び事業税を246千円、法人税等調整額を△256千円それぞれ計上しております。

(2) 財政状態の概況

① 資産、負債および純資産の状況

当中間連結会計期間末における、資産、負債および純資産の状況は、次の通りです。

(ア) 流動資産

流動資産は156,508千円となり、前連結会計年度末と比較して91,865千円減少しました。

主な科目の増減及び増減理由は次の通りです。

- ・ 売掛金が101,967千円減少しました。

これは主にF・ソリューションズ株式会社の連結除外による減少、同社の株式譲渡に際してグループ子会社にて同社に対する債権放棄を実施したことによる減少及び売掛金の回収が進んだことによるものであります。

(イ) 固定資産

固定資産は119,647千円となり、前連結会計年度末と比較して22,161千円減少しました。

主な科目別の増減及び増減理由は次の通りです。

- ・ 有形固定資産は19,042千円減少しました。

これは主に、減価償却が進んだこと、また歯科医院向けに保有していた歯科医院設備を一部除却したことによるものであります。

(ウ) 流動負債

流動負債は218,211千円となり、前連結会計年度末と比較して44,696千円減少しました。

主な科目別の増減は次の通りです。

- ・ 未払消費税等が16,108千円減少しました。
- ・ 買掛金が12,993千円減少しました。

(エ) 固定負債

固定負債は160,572千円となり、前連結会計年度末と比較して29,378千円減少しました。主な科目別の増減及び増減理由は次の通りです。

- ・長期借入金が21,809千円減少しました。

これは主に金融機関借入の返済が進んだことによるものであります。

(イ) 純資産

純資産は△102,629千円となり、前連結会計年度末と比較して39,953千円減少しました。

これは主に、増資を行ったことにより資本金及び資本準備金がそれぞれ15,499千円増加した一方で、親会社株主に帰属する中間純損失71,387千円の計上によるものです。

② キャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比較して13,274千円増加し、18,439千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は13,743千円となりました（前中間連結会計期間は使用した資金11,195千円）。これは主に、売上債権の減少38,550千円、仕入債務の増加35,852千円及び貸倒引当金の増加23,997千円を計上する一方で、税金等調整前中間純損失71,397千円及び関係会社株式売却益△19,154千円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は2,097千円となりました（前中間連結会計期間は獲得した資金1,953千円）。増減の理由としましては、前中間連結会計期間では有形固定資産の取得による支出を△2,373千円計上しておりましたが、当中間連結会計期間ではなくなった一方で、関係会社株式の売却に伴う支出を△3,393千円計上したことが主なものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は前中間連結会計期間と比較して974千円減少し1,865千円となりました。増減の理由としましては、長期借入金の返済による支出が7,992千円減少となった一方で、短期借入金の純増が10,000千円減少したことが主なものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期における通期連結業績予想につきましては、2019年5月15日付の決算短信で公表した業績予想から変更しておりません。歯科医院向けの営業子会社であったF・ソリューションズ株式会社の株式の譲渡に伴い、現在、営業・営業事務の統合作業を行っております。同時並行で移管に伴う受注計画の見直しを行っている途上にあり、計画策定後見通しに修正の必要が発生しましたら速やかに開示をする予定であります。

(4) リスク情報

本中間決算短信公表日時点において、当社がJ-Adviser契約を締結しているのは株式会社宝印刷（以下、「同社」とします。）であり、同社とのJ-Adviser契約において、下記の事項が定め

られております。

- ・当社が上場会社となった後に、その事業年度の末日に、債務超過の状態である場合(上場後3年間において債務超過の状態となった場合を除く。)において、1年以内に債務超過の状態でなくならなかったとき、同社が催告無しにJ-Adviser契約を解除できること。

当社は2019年3月期において債務超過の状態であり(純資産合計額は△62,676千円)、上場後3年を経過していることから、2020年3月期末において債務超過を解消できなかった場合には、無催告でJ-Adviser契約を解除される可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等について

当社グループは、前連結会計年度において、重要な営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上し、また、当中間連結会計期間においても、営業損失33,776千円、経常損失35,345千円、親会社株主に帰属する中間純損失71,387千円を計上しております。

当該状況により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは当該状況を解消し又は改善すべく、以下の対応策に取り組み、安定した収益基盤の確立、コスト削減および資金調達等による、財務基盤の強化を目指してまいります。

具体的には次の通りであります。

1. 当社のグループ子会社で行っていた歯科医院向け営業を株式会社シケンに集約し、同社からの外注取引を拡大し、収益の改善を図ってまいります。
2. 人件費を含めた経費の全面的見直しを実施、不採算部門の縮小等リストラクチャリングを積極的に推進し、キャッシュ・フローの最大化を目指してまいります。
3. 財務状態の改善を目指し、新たなファイナンスの検討を実施、同時に借入金等その他の資金調達についても進めてまいります。

以上の対応策を中心とした経営の効率化を図り、安定的な収益基盤を構築すべく努めてまいります。

しかしながら、これらの対応策は実施途上であり、計画が全て順調に推移するとは限らず、不測の事態も考えられることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められません。

なお、中間連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を中間連結財務諸表には反映しておりません。

2 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当中間連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,813	18,439
売掛金	222,101	120,134
商品及び製品	12,041	12,123
仕掛品	1,638	987
原材料及び貯蔵品	9,637	7,899
その他	13,339	8,981
貸倒引当金	△16,197	△12,058
流動資産合計	248,373	156,508
固定資産		
有形固定資産		
建物	93,292	82,559
減価償却累計額	△41,229	△41,614
建物(純額)	52,062	40,944
機械装置及び運搬具	172,027	165,044
減価償却累計額	△143,612	△140,750
機械装置及び運搬具(純額)	28,414	24,293
工具、器具及び備品	63,549	53,008
減価償却累計額	△59,538	△50,776
工具、器具及び備品(純額)	4,010	2,231
リース資産	40,467	36,645
減価償却累計額	△29,587	△27,789
リース資産(純額)	10,879	8,855
土地	41,947	41,947
有形固定資産合計	137,315	118,273
投資その他の資産		
破産更生債権等	2,913	20,570
その他	4,493	1,373
貸倒引当金	△2,913	△20,570
投資その他の資産合計	4,493	1,373
固定資産合計	141,808	119,647
資産合計	390,181	276,155

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当中間連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,994	30,001
短期借入金	61,766	50,000
リース債務	6,614	6,358
一年内返済予定の長期借入金	26,699	25,782
未払金	54,201	56,079
未払法人税等	2,930	3,565
未払消費税等	21,231	5,123
前受金	2,057	1,576
役員からの短期借入金	15,000	15,000
その他	29,412	24,724
流動負債合計	262,907	218,211
固定負債		
長期借入金	162,922	141,113
リース債務	10,488	7,309
繰延税金負債	1,539	1,283
資産除去債務	2,384	2,002
その他	12,615	8,863
固定負債合計	189,950	160,572
負債合計	452,857	378,784
純資産の部		
株主資本		
資本金	134,100	149,600
資本剰余金	80,100	95,599
利益剰余金	△287,554	△358,941
株主資本合計	△73,353	△113,742
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	10,677	11,112
その他の包括利益累計額合計	10,677	11,112
純資産合計	△62,676	△102,629
負債純資産合計	390,181	276,155

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	343,520	216,745
売上原価	240,038	165,360
売上総利益	103,481	51,385
販売費及び一般管理費	141,448	85,162
営業損失(△)	△37,966	△33,776
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	2
為替差益	2,070	—
作業くず売却益	2,607	2,767
その他	2,381	1,033
営業外収益合計	7,064	3,803
営業外費用		
支払利息	3,184	2,628
為替差損	—	698
棚卸資産廃棄損	—	1,446
その他	257	597
営業外費用合計	3,441	5,372
経常損失(△)	△34,343	△35,345
特別利益		
関係会社株式売却益	—	19,154
特別利益合計	—	19,154
特別損失		
固定資産除却損	—	9,808
貸倒引当金繰入額	—	27,472
債権放棄損	—	17,925
賃貸借契約解約損	2,977	—
特別損失合計	2,977	55,206
税金等調整前中間純損失(△)	△37,321	△71,397
法人税、住民税及び事業税	562	246
法人税等調整額	△302	△256
法人税等合計	260	△9
中間純損失(△)	△37,581	△71,387
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△37,581	△71,387

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
中間純損失(△)	△37,581	△71,387
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,082	435
その他の包括利益合計	△2,082	435
中間包括利益	△39,663	△70,952
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△39,663	△70,952
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	新株式申込証 抛金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	101,550	30,000	47,550	△267,895	△88,794
当中間期変動額					
新株の発行	15,000	△30,000	15,000		—
親会社株主に帰属する 中間純損失(△)				△37,581	△37,581
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					—
当中間期変動額合計	15,000	△30,000	15,000	△37,581	△37,581
当中間期末残高	116,550	—	62,550	△305,476	△126,376

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	12,781	12,781	△76,013
当中間期変動額			
新株の発行			—
親会社株主に帰属する 中間純損失(△)			△37,581
株主資本以外の項目の当中 間期変動額(純額)	△2,082	△2,082	△2,082
当中間期変動額合計	△2,082	△2,082	△39,663
当中間期末残高	10,698	10,698	△115,677

当中間連結会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	134,100	80,100	△287,554	△73,353
当中間期変動額				
新株の発行	15,499	15,499		30,999
親会社株主に帰属する 中間純損失(△)			△71,387	△71,387
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)				
当中間期変動額合計	15,499	15,499	△71,387	△40,388
当中間期末残高	149,600	95,599	△358,941	△113,742

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	10,677	10,677	△62,676
当中間期変動額			
新株の発行			30,999
親会社株主に帰属する 中間純損失(△)			△71,387
株主資本以外の項目の当中 間期変動額(純額)	435	435	435
当中間期変動額合計	435	435	△39,953
当中間期末残高	11,112	11,112	△102,629

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△37,321	△71,397
減価償却費	9,440	8,655
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△675	23,997
受取利息及び受取配当金	△3	△3
支払利息	3,184	2,628
関係会社株式売却益	—	△19,154
固定資産除却損	—	9,808
賃貸借契約解約損	2,977	—
売上債権の増減額(△は増加)	15,434	38,550
たな卸資産の増減額(△は増加)	11,677	1,620
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,070	35,852
為替差損益(△は益)	△2,070	698
その他	1,208	△15,315
小計	△7,218	15,943
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△2,864	△2,128
法人税等の支払額	△1,116	△74
営業活動によるキャッシュ・フロー	△11,195	13,743
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	648
有形固定資産の取得による支出	△2,373	—
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却に伴う支出	—	△3,393
短期貸付金の回収による収入	4,287	—
その他	39	648
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,953	△2,097
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	30,000	20,000
長期借入金の返済による支出	△19,668	△11,676
リース債務の返済による支出	△3,950	△3,243
その他	△3,542	△3,215
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,839	1,865
現金及び現金同等物に係る換算差額	22	△237
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,379	13,274
現金及び現金同等物の期首残高	12,063	5,164
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,683	18,439

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度において、重要な営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上し、また、当中間連結会計期間においても、営業損失33,776千円、経常損失35,345千円、親会社株主に帰属する中間純損失71,387千円を計上しております。

当該状況により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは当該状況を解消し又は改善すべく、以下の対応策に取り組み、安定した収益基盤の確立、コスト削減および資金調達等による、財務基盤の強化を目指してまいります。

具体的には次の通りであります。

1. 当社のグループ子会社で行っていた歯科医院向け営業を株式会社シケンに集約し、同社からの外注取引を拡大し、収益の改善を図ってまいります。
2. 人件費を含めた経費の全面的見直しを実施、不採算部門の縮小等リストラクチャリングを積極的に推進し、キャッシュ・フローの最大化を目指してまいります。
3. 財務状態の改善を目指し、新たなファイナンスの検討を実施、同時に借入金等その他の資金調達についても進めてまいります。

以上の対応策を中心とした経営の効率化を図り、安定的な収益基盤を構築すべく努めてまいります。

しかしながら、これらの対応策は実施途上であり、計画が全て順調に推移するとは限らず、不測の事態も考えられることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められません。

なお、中間連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を中間連結財務諸表には反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間において、第三者割当による新株式発行（デット・エクイティ・スワップ）を行い、株主資本が30,999千円（資本金15,499千円、資本剰余金15,499千円）増加しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、歯科技工関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。